

# 工業蒲田

東 京 都 電 蒲 田 機 器 有 限 公 司  
 大 田 区 蒲 田 3 丁 1 番 8 号  
 電 話 (0427) 321-7821  
 発 行 所 目 録 組 員 委 員 会  
 行 田 協 同 行 業 集 団 協 会  
 東 京 都 大 田 区 蒲 田 3 丁 1 番 8 号  
 電 話 (0427) 321-7821  
 発 行 所 目 録 組 員 委 員 会  
 行 田 協 同 行 業 集 団 協 会

## 年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合

理事長 増田道造

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
 組合員並びに本組合の皆様には  
 ご健勝にて新年をお迎えになられ  
 たことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は組合並びに本組合に格  
 別の支援とご厚情を賜り、心よ  
 り厚くお礼を申し上げます。  
 昨年一〇数年続いている異常

低温で世界各地に災害が多発した  
 り、原資材・原油の高騰も深刻な  
 問題になりました。  
 二千二百人以上の入場者数を  
 記録した愛知万博、個人消費や設  
 備投資の回復・地価の底入れ・デフレ  
 脱却期待など強気な見方と報道さ  
 れるなど景況感に明るさが戻った  
 年でもありました。

新年を迎えようことは、経営に  
 携わる限り一つ試練を乗り越えれ  
 ばまた次の試練がやってきます。  
 暗い話題に目を向けるよりチャレ  
 ンジあるのみの精神で二〇〇六年  
 組合活動では昨年十一月に長年  
 課題でありましたホームページを  
 開設しました。ホームページに  
 ついては、理事会等で色々議論があ



直近のお話からさせて頂きたい  
 と思います。  
 実は一昨日、一昨日日檀家の八  
 八歳のおぼあちゃんのお夜、葬式  
 を寺でいたしました。その葬式の  
 出棺の際に門前に霊柩車が停まり  
 棺も納めてこれから出発という時  
 に少しの時間がありました。その  
 少しの時間に門前を通り過ぎる方  
 がたくさんいらっしゃいます。十  
 人ではきかないもつ沢山の方が  
 通り過ぎました。その通り過ぎる  
 方々の年齢は八十歳を超えた方か  
 ら十代の若い人まで様々でした  
 が、その人たちが皆迷惑そうなの  
 中にはいかにも嫌だという顔を  
 したり、そ知らぬ顔で通り過ぎて  
 行かれました。

私は、出棺を見送るために袈裟  
 衣をつけて門前におりましたが、  
 その皆さんの様子をつぶさに見て  
 いて「こんなに造ってきたのだな  
 りました。これもチャンレンジ  
 ということで手作りのシンプルな  
 ものからスタートし、少しずつ手  
 を加えて皆様の情報交換の補助に  
 なればと考えております。  
 昨年における本組合の活動の毎  
 回異なる外部講師を招いての講演  
 会では、特に「中国」が話題に  
 度々登場し、各講師三者三様のご  
 意見で色々な側面を持つ大団との  
 認識を更に強くしました。又、健  
 康についても環境や食生活の変化  
 で今までの常識では通用しない時  
 代になったということ、一番大切  
 なのは「バランス」ということを  
 強く実感しました。  
 そして、組合運営の再構築を図  
 るために行った成果と実績によ  
 り、会館の外装修繕を行うことが  
 でき、諸先輩方の培って来た資産  
 価値を維持できるよう、少しづつ  
 手を加えたいと考えております。  
 今年も引き続き組合事業活動の活  
 性化、本組合活動、組合員数の増  
 強など、昨年以上の更なる飛躍を  
 目指して取り組みたいと考えており

命の尊さ  
 忘れられた世相  
 私は昭和十三年の生れで、九州  
 の佐賀という極々の田舎に生まれ  
 育ち、昭和三十三年に東京に出て参  
 りました。終戦の時が国民学校の  
 一年生でしたが、田舎での風習は  
 甲いがあるのと村の人たちが集まり  
 近所の甲い組の人が役割分担をす  
 る、役割に当らない人も集まって  
 見送りをす、子供達も菓子をも  
 らったりするので皆集まるという  
 ところは育ちました。甲いを見送  
 る時は子供でも手を合わせて頭を  
 下げるといことは教わって育つ  
 たところがあります。  
 東京に出て来たのは昭和三十三年  
 で、色々な甲いにたくさん出会っ  
 てきましたが、このところ極端に

変わってきたと思います。かつて  
 は葬列の車の間には割り込まない  
 とか、交差点で葬列が通り過ぎる  
 までは、片方が止められても誰も  
 腹をたてたり文句を言ったりはし  
 なかった。心の中で手を合わせる  
 乃至は目礼して葬列を見送る、そ  
 ういうことがごく当たり前になり  
 人間がわきまをいた事だった。  
 ところがその辺が変わってきた  
 一つに分かれ道は何かと考えます  
 と、皆さんよくご存知の言葉で告  
 別式という言葉があります。ど  
 うもお通夜が告別式になってしま  
 ったという状況があるように思  
 います。元々通夜というのは縁のあ  
 る人達が集まってその時間はお経  
 を一緒に聞くと、遺族や親戚の  
 人たちが皆集まり静かに時を過  
 すものでした。もちろん酒盛りも  
 あったでしょうし、戦前には下町  
 や川向こうの川崎あたりではバク

### 「技術と文化の融合」

池上本門寺執事長  
 早水日秀師

子を打ったりしたこともあったと  
 聞いたこともあり、両面あったと  
 思いますが、根本は亡くなった人  
 のことを色々語りながら時を過  
 すという時間だった。  
 ところがだんだん効率主義にな  
 ってきて、通夜と葬式二日に亘る  
 わけですから、通夜に行つて義理  
 だけ果たすというようになってき  
 ました。通夜の会葬に見えただけ  
 が答礼をしながら、焼香が終ると  
 すぐ第一会場に移され、そこで接  
 待を受けて失礼するという形にな  
 って、静かに時を過す事だった  
 通夜が所謂告別式になってしま  
 った。  
 元々通夜に相対する言葉は葬儀  
 という言葉です。告別式という言  
 葉は宗教を伴わない言葉なので  
 す。大正時代に社会主義者でジャ  
 ーナリストでもあった中江兆民と  
 いう人が「自分が死んだ時に宗教  
 臭いのが嫌だ。宗教臭くない別  
 方をしたい」というので考え出し  
 た言葉が告別式というネーミング  
 でした。  
 我々僧職にある者乃至は宗教儀  
 礼に関する者の考え方、価値観とす  
 れば翌日行われる儀式は葬儀と解  
 根するわけですが、その部分がど  
 んどん薄まってしまい、遺族と縁  
 (次項へ)

目次

- 「年頭ご挨拶」 ①
- 「技術と文化の融合」 ①、③
- 「新春講演会」 ③
- 「賀詞交歓会」 ③
- 「組合員だより」 ④
- 「業務報告」 ④
- 「掲示板」 ④
- 「年賀広告」 ⑤、⑥







新組合員の紹介  
先の方が新しく組合に加入されましたのでご紹介申し上げます。

大志工業株式会社

代表取締役 沖山 裕夫  
住所 大田区西六郷

電話 三三五・六七六一  
業種 金属挽物製造加工

代表者変更

株式会社ユタカ製作所

旧代表者 高井 薫平  
新代表者 牧 康行

計 報

川村 俊子氏

有限会社川村製作所社長川村有史氏ご母堂は去る三月二十一日逝去されました。謹んで報告申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

業務報告

一月六日

1 新春講演会

講師 京都大学教授

テーマ 二〇〇五年― 中西輝政氏

一つの時代が終わる年

2 新春賀詞交歓会



工場見学

二月八日

正副会長会議及び定例経営サロ  
ン(木鶏会)

1 平成十六年度決算報告について  
平成十七年度予算案について  
全員異議なくこれを承認

2 木鶏会総会開催日並びに講演会  
講師について  
開催日 平成十七年三月十一日

会場 ア・ベア  
講師 帝京大学教授  
高山正之氏

3 定例経営サロン

海老名信緒氏担当

三月十一日

1 木鶏会総会

2 講演会  
講師 帝京大学教授  
高山正之氏

テーマ 世界は腹黒い

3 懇談懇親会

四月十二日

定例経営サロン(木鶏会)  
小林章彦氏担当

1 平成十六年度事業報告・決算報  
告・剰余金処分案承認の件  
全員異議なく承認

2 平成十七年度事業計画案・収支  
予算案承認の件  
全員異議なく承認

3 平成十七年度借入最高限度額決  
定の件、一組員に対する最高  
限度額決定の件、手数料最高限  
度額決定の件  
全員異議なく承認

4 講演会

講師 池上本門寺  
執事長 早水日秀氏

5 通常総会、講演会開催の件

講師 池上本門寺

テーマ 技術と文化の融合

5 通常総会、講演会開催の件

講師 池上本門寺

テーマ 技術と文化の融合

5 通常総会、講演会開催の件

開催日 平成十七年五月  
二十四日(火)

会場 ア・ベア

2 講演会

3 懇談懇親会

5 五月十日

正副会長会議及び定例経営サロ  
ン(木鶏会)

1 工場見学について  
開催日 平成十七年七月  
十四日(木)

見学先 株式会社アルファ  
群馬工場

2 納涼経営サロン

会場 東苑(東京會館)

3 定例経営サロン

講演会

講師 大田区産業振興協会  
理事長 濱岡平一氏

テーマ カルロス・ゴーンに学  
ぶ

五月十二日

理事会

議題は常任理事会上程のもの  
全員異議なくこれを承認

五月二十四日

1 平成十六年度通常総会  
可決事項全員異議なく承認

2 講演会

3 懇談懇親会

六月十四日

定例経営サロン(木鶏会)

増田道彦氏担当

六月二十一日

常任理事会

蒲田工業会館外装工事の件

七月十四日

1 工場見学

2 納涼サロン

七月二十一・二十二・二十五日

定期健康診断の巡回

定例経営サロン(木鶏会)

講演会

講師 愛知淑徳大学教授  
真田幸光氏

テーマ 最近の東アジア情勢

九月二十六日

理事会

1 蒲田工業会館外装工事の件

2 ホームページの件

十月十一日

正副会長会議及び定例経営サロ  
ン(木鶏会)

十一月八日

忘年会について

開催日 平成十七年十二月  
十三日(火)

場所 スコット(日本橋浜町)

2 新春講演会について

開催日 平成十八年一月十日(火)

場所 ア・ベア

講師 京都大学教授  
中西輝政氏

テーマ 二〇〇六年―  
日本の展望

3 定例経営サロン

講演会

講師 京浜病院副院長  
志越 顕氏

テーマ サプリメントの  
活用と留意点

十一月八日

定例経営サロン(木鶏会)

講演会

十二月十三日

忘年会

講師 スポーツアドバイザー  
木内周史氏

テーマ 生涯現役を求めて  
脳と神経と筋肉を繋ぐ

十一月十八日

十五年以上勤続優良従業員に対  
して区長から感謝状贈呈

(社名五十音順 敬称略)

太産工業株式会社  
石崎 節子、内埜 利雄、  
小高世津子、君島 祥浩、  
奥石ユウ子、獅子倉則子、  
実川 幸徳、武井さつき、  
立花 亮子、宮沢 正一、  
加藤 忠幸  
以上十一名



忘 年 会

年末・年始事務取扱のお知らせ  
年末・年始の組合事務局の事  
務取扱日は左記の通りとさせてい  
ただきます。

記

年末 十二月二十八日水まで  
年始 一月五日木から

木鶏会にご加ください

青年部の事業の一つとし  
て、毎月第二火曜日午後六時  
半から経営サロンを開催して  
います。

議題として、技術、コスト  
等経営は勿論ですが、政治、  
経済、健康、趣味、哲学に及  
んでいます。

講師を招いての講演会や勉  
強会、また年一回以上はオシ  
ヤレな場所での親睦会を設け  
ています。

時代の先端を行く仲間や老  
舗の貴重な意見が聞けたり、  
明日のビジネスに繋がる話を  
しています。

詳細は事務局までお気軽に  
お問合せ下さい。



自動車ローン  
グループ保険

のお申し込みは

組合へ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合有志

(五十音順)

機械器具製造業

尼寺空圧工業株式会社

代表取締役 尼寺 実

岡田 飯金株式会社

代表取締役 増田 道造

株式会社 弘機商会

代表取締役 坪根 五久代

有限会社 須藤製作所

代表取締役 須藤 敏男

大成工業株式会社

代表取締役 鎮目 哲郎

株式会社 タンケンシールセーコウ

代表取締役 永井 彌太郎

東 亜 株式 会 社

代表取締役 小柳 隆

株式会社 東京精密器具製作所

代表取締役社長 西ヶ谷 好隆

長坂精機株式会社

代表取締役 長坂 基秀

南旺工業株式会社

代表取締役 林 隆史

日本チエン・ギヤー無段変速機株式会社

代表取締役社長 加藤 進弘

深尾精機株式会社

代表取締役 中井 富士夫

有限会社 富士精機製作所

代表取締役 荻野 茂

株式会社 藤原製作所

代表取締役 藤原 徳一

株式会社 文化精工

代表取締役 桑原 久直

電気機械器具製造業

出雲電機株式会社

代表取締役 雲野 和信

太産工業株式会社

代表取締役 千葉 泰常

永森電機株式会社

代表取締役 永森 忠臣

株式会社 マコメ研究所

代表取締役 清水 茂治郎

輸送用機械器具製造業

荏原工業株式会社

取締役社長 長井 俊樹

株式会社 大谷造機所

取締役社長 大谷 文雄

株式会社 清川製作所

代表取締役 川瀬 純一

謹賀新年

蒲田工業協同組合

(五十音順)

相談役 西ヶ谷 勝美

理事長 増田 道造

副理事長 大谷 文雄

専務理事 小林 章彦

常任理事 荻野 茂

常任理事 須藤 敏男

常任理事 長井 俊樹

理事 新井 陽一

理事 岩崎 登喜雄

理事 海老名 信緒

理事 加藤 進弘

理事 工藤 勝弘

理事 斉藤 喜久雄

理事 菅谷 義弘

理事 竹内 榮多

理事 鳥海 保男

理事 長坂 基秀

理事 野口 広

監事 鈴木 健一

監事 田村 知之

事務局長 沢登 正彰

(次頁へつづく)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合有志

(五十音順)

(前頁より)

輸送用機械器具製造業

第一金属工業株式会社

代表取締役 菅谷義弘

株式会社鳥海製作所

代表取締役 鳥海保男

金属製品製造業

有限会社川村製作所

代表取締役 川村有史

株式会社極東精機製作所

代表取締役 鈴木健一

佐々木発條株式会社

代表取締役 佐々木毅彦

有限会社タムラ精工

代表取締役 田村知之

テイヴィバルブ株式会社

代表取締役 竹内榮多

同和発條株式会社

代表取締役社長 川嶋治彦

株式会社日産電機

代表取締役 中村國男

株式会社羽田パイプ製造所

代表取締役 野口 広

有限会社早崎製作所

代表取締役 早崎吉春

有限会社富士テクノマシン

代表取締役 飯室 肇

株式会社松原製作所

代表取締役 松原一喜

プレス・鋅金・製罐業

株式会社新井久四郎鉄工所

代表取締役 新井陽一

株式会社内田製作所

代表取締役 内田正勝

株式会社内原製作所

取締役 内原康雄

有限会社京浜プレス工業所

代表取締役 斉藤喜久雄

有限会社師岡鋅金製作所

専務取締役 師岡正雄

めつき業・アルマイト業

エビナ電化工業株式会社

代表取締役社長 海老名信緒

株式会社三協アルマイト

代表取締役 岩崎登喜雄

鋳物・鍛造業

有限会社京浜鋳造所

代表取締役 神道 晃

その他

株式会社気球製作所

取締役社長 豊間 厚

労働衛生コンサルタント

佐藤事務所

産業医 佐藤精一

ジャパン・アヴィエーション・

サービス株式会社

株式会社中央テクニカ

代表取締役 木戸隆博

株式会社日章機械

代表取締役社長 小林章彦



HACCP高度化基準認定工場

となんのお料理をどうぞ

都南工業給食協同組合

大田区南六郷三一五一一

TEL 三三三三 一七四五(代)